

(社) 土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会

平成 21 年度 第 3 回小委員会 議事録

日時：平成 22 年 3 月 15 日（月） 14:00～17:00

場所：土木学会 役員会議室

出席者：末武義崇，岩井茂雄，大谷徹，清野聡子，二宮正，根岸均，藤原浩巳，田中岳，持木智司，竹山智英，篠原雅和，幣守健，峯岸邦夫，木村清和，依田照彦，宇井正之

(敬称略，下線欠席)

オブザーバ出席 木村國夫、加藤浩志

配布資料：

資料 3-1 平成 21 年度 第 2 回小委員会議事次第（本紙）

資料 3-2 前回小委員会議事録（案）（平成 21 年度第 2 回小委員会：H21.10.28 開催）

資料 3-3 親委員会配布資料：平成 21 年度キッズプロジェクト検討小委員会活動報告

資料 3-4 親委員会からメールで配信のあった資料：「川辺川ダムが扱われた教材等.pdf」

議 題

<小委員会>

1. 小委員会委員長挨拶

2. 前回議事録確認

- ・前回の議事録について確認、了承された。

3. 第 2 回親委員会報告（H22.1.20）

- ・去る 1 月 20 日（水）に開催された第 2 回委員会の内容について、末武委員長より報告があった。
- ・アニメーション映画「パッテンライ」について、当小委員会での初等教育支援でも活用してもらいたい旨、親委員会から依頼があった。

4. 具体的な教材づくりについて

- ・末武小委員長より、「ひろがる言葉（小学国語 4 下）」（教育出版）で紹介されている“アーチ橋の仕組み“について実演があった。教材づくりについては、当該教科書の事例のように、土木に関連した事項を各教科単元に併せて紹介する仕組みも効果的であると考えられることから、当該教科書および小委員長の実演資料（後日配布予定）を参考に、アイデアを出し合うこととした。
- ・藤原委員より、コンクリートを教材とした学習支援について紹介があった。支援活動は総合学習の時間を活用して実施されているが、今後、総合学習の時間が短縮される中、総合学習の枠内での活動継続が難しくなることも予想される。保護者会などのイベント的な学校行事の支援に活動の重心を移しつつ、土木に関する意識啓発を図る方向である旨、説明があった。
- ・教材づくりについては、上記の事例も踏まえ、土木に関連した事項を題材に、初等教育での各教科単元に活用可能な教材を考案していくこととした。
- ・考案した教材については、複数の小学校（できれば東京都内）の教員からご意見を伺い、より実用的なものとして完成度を高めていくこととした。なお、教材の評価をしていただく小学校の選定にあたっては、これまでに支援活動を実施している小学校を中心に選定することとした。

5. 連絡協議会について

- ・埼玉大学の桑野先生（地盤工学会）とネットワーク形成にあたって近々に協議を予定しており、その結果を踏まえて大阪大学の松村先生（都市計画学会）と協議会立上げについて再度協議する計画である旨、末武小委員長より報告があった。

6. 来年度の活動について

- ・来年度の活動は、今年度の活動を継続して行うこととし（活動目標は今年度と同様）、教材づくりについて掘り下げた検討を行っていくこととした（具体的な教材提供、並びに効果検証によるより実用的な教材改良）。
- ・来年度の小委員会メンバー（変更の有無）については、来年度早々（委員会の区切り年度である6月）に確認することとした。

6. その他

- ・その他連絡事項として、下記の内容について連絡した。
 - 1)平成 22 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集（〆切：H22.3.19（金） 土木学会必着）
 - 2)平成 22 年度全国大会共通セッション講演申込（〆切：H22.4.9（金） 土木学会 HP）
 - 3)産業技術コミュニケーターに関するヒアリング（三菱総研・庄司氏）
 - 4)公共事業に関する初等・中等教育現場の実態について

以 上